

工 事 計 画 届 出 書

(高浜発電所第1号機の変更の工事)

関 原 発 第 5 1 0 号

2 0 2 2 年 1 2 月 2 日

経済産業大臣

西村 康稔 殿

原子力規制委員会 殿

大阪市北区中之島 3 丁目 6 番 16 号

関 西 電 力 株 式 会 社

執 行 役 社 長 森 望

電気事業法第48条第1項の規定により別紙工事計画書のとおり工事の計画を  
届け出ます。

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
商業機密あるいは防護上の観点  
から公開できません。

高浜発電所第1号機

工事計画届出書

本文及び添付書類

関西電力株式会社

## 目 次

	頁
I. 工事計画書 .....	1
II. 工事工程表 .....	7
III. 変更を必要とする理由を記載した書類 .....	8
IV. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の認可の申請をした 年月日を記載した書類 .....	9
V. 添付書類 .....	10

## I. 工事計画書

### 一 発電所

#### 1 発電所の名称及び位置

名称	高浜発電所
位置	福井県大飯郡高浜町田ノ浦

#### 2 発電所の出力及び周波数

出力	3,392,000 kW	
第1号機	826,000 kW	(今回届出分)
第2号機	826,000 kW	
第3号機	870,000 kW	
第4号機	870,000 kW	
周波数	60 Hz	

(一) 原子力設備

今回の変更工事のみ記載する。

5 放射線管理設備

5. 3 生体遮へい装置の名称、種類、主要寸法、冷却方法及び材料

変 更 前					変 更 後				
名 称	種 類	主 要 寸 法 (最小厚さ)(m)	冷 却 方 法	材 料	名称	種類	主要 寸法	冷却 方法	材料
(注1) 補助遮蔽	壁	北壁	<input type="text"/> (注2) ( <input type="text"/> (注3,4))	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上 (注6))	変更なし			
		東壁	<input type="text"/> (注2) ( <input type="text"/> (注3,4))	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上 (注6))				
		南壁	<input type="text"/> (注2) ( <input type="text"/> (注3,4))	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上 (注6))				
		西壁	<input type="text"/> (注2) ( <input type="text"/> (注3,4))	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上 (注6))				
	天井	<input type="text"/> (注2) ( <input type="text"/> (注3,5))	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上 (注6))					
B蒸気発生器保管庫 (1・2・3・4 号機共用)									

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「補助遮へい」と記載

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

(注3) 公称値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載

(注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載

(注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「比重2.1以上」と記載

変更前					変更後					
名称	種類	主要寸法 (最小厚さ)(m)	冷却方法	材料	名称	種類	主要寸法	冷却方法	材料	
補助遮蔽 外部遮蔽壁保管庫 (1・2号機共用)	壁 1階	北壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)	補助遮蔽 外部遮蔽壁保管庫 (1・2・3・4号機共用)				
		東壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)					
		南壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)					
		西壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)					
	壁 2階	北壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)					
		東壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)					
		南壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)					
		西壁	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)					
天井	<input type="text"/> ( <input type="text"/> (注1) )	自然冷却	鉄筋コンクリート (密度2.1g/cm <sup>3</sup> 以上)							

(注1) 公称値

6 廃棄設備

6. 1 気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備に係る次の事項

(6) 廃棄物貯蔵庫の名称、種類、容量、主要寸法及び材料

			変 更 前	変 更 後	
名 称			B蒸気発生器保管庫 (1・2・3・4号機共用)	変更なし	
種	類	—	鉄筋コンクリート造平屋建		
容	量	—	蒸気発生器 3基 保管容器 500m <sup>3</sup> (注1) (500m <sup>3</sup> (注2))		
主要寸法	間	口	m		21.000 (注2, 3)
	奥	行	m		28.000 (注2, 4)
	高	さ	m		8.400 (注2, 5)
材	料	—	鉄筋コンクリート		

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「約500m<sup>3</sup>」と記載

(注2) 公称値

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「21.0」と記載

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「28.0」と記載

(注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「8.4」と記載



			変更前		変更後	
名称			外部遮蔽壁保管庫 (1・2号機共用)		外部遮蔽壁保管庫 (1・2・3・4号機共用)	
種類	—		鉄筋コンクリート造2階建		変更なし	
容量	m <sup>3</sup> /棟		保管容器 8,300 (8,300 (注1,2))			
主要寸法	間口	m	1階	2階		
			53.400 (注2)	53.400 (注2)		
	奥行	m	45.900 (注2)	45.900 (注2)		
高さ	m	5.500 (注2)	4.400 (注2)			
材料	—		鉄筋コンクリート			

(注1) 1階の容量5,000m<sup>3</sup>と2階の容量3,300m<sup>3</sup>の総計

(注2) 公称値

6. 2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備に係る次の事項

(6) 固体状の放射性廃棄物の運搬用容器の名称、種類、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに放射線遮へい材の種類、冷却方法、主要寸法及び材料

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	減容バーナブルポイズン運搬用容器 (1・2号機共用)	
運搬用容器	種 類	—		横置角柱形	
	最 高 使 用 温 度	℃		60	
	主要寸法	全 長		mm	4,590 (注1)
		胴 内 寸 幅		mm	466 (注1)
		胴 内 寸 高 さ		mm	466 (注1)
		胴 板 厚 さ		mm	(側板) (220 (注1)) (底板) (220 (注1))
		蓋 板 厚 さ		mm	(220 (注1))
	材 料	—		SS400	
個 数	—	14			
放射線遮へい材	種 類	—		ガンマ線遮蔽材	
	冷 却 方 法	—		自然冷却	
	主要寸法	胴 板 厚 さ		mm	(側板) (220 (注1)) (底板) (220 (注1))
		蓋 板 厚 さ	mm	(220 (注1))	
	材 料	—	SS400		

(注1) 公称値



### Ⅲ. 変更を必要とする理由を記載した書類

#### 変更を必要とする理由

高浜発電所第1号機（第2号機を含む。）の使用済燃料ピットに貯蔵している減容したバーナブルポイズン（以下「減容BP」という。）を、固体状の放射性廃棄物の運搬用容器に収納し、第1・2・3・4号機共用、既設のB蒸気発生器保管庫（以下「B-SG保管庫」という。）へ運搬して保管する。

また、減容BPの保管に際し、第1・2号機共用、既設の外部遮蔽壁保管庫を第1・2・3・4号機共用とし、第1・2・3・4号機共用、既設のB-SG保管庫内の一部の固体廃棄物を外部遮蔽壁保管庫に運搬することで、B-SG保管庫での減容BPの保管スペースを確保する。

IV. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の認可の申請をした年月日を記載した書類

当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請をした年月日は以下のとおり。

高浜発電所第1号機

設計及び工事計画認可申請書番号

関原発第294号（2022年 7月15日）

以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った書類番号

関原発第509号（2022年12月 2日）

## V. 添付書類

「原子力発電工作物の保安に関する省令第15条第1号の規定に基づく指示について」（平成25年7月8日原規技発第1307081号・20130628商第22号）により、原子力規制委員会及び経済産業大臣から添付することを要しない旨の指示があった以下の添付書類については、添付を省略する。

### 省略した添付書類

- 1 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
- 2 安全設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書
- 3 放射線管理設備に係る機器の配置を明示した図面
- 4 生体遮へい装置の放射線の遮へい及び熱除去についての計算書
- 5 品質保証に関する説明書
- 6 廃棄設備に係る機器の配置を明示した図面
- 7 耐震性に関する説明書
- 8 強度に関する説明書
- 9 構造図
- 10 固体廃棄物処理設備における放射性物質の散逸防止に関する説明書
- 11 放射性廃棄物運搬用容器の放射線遮へい材の放射線の遮へい及び熱除去についての計算書